



お客様・公的機関・地域社会など幅広いパートナーとともに、持続可能な社会の実現に向け、環境経営の環を拡げています。

ニューヨーク・タイムズスクエアの100%自然エネルギーの看板（完成イメージ図）
※ 2009年4月太陽光発電による稼働開始。風力発電は7月稼働予定。

リコーグループは、製品やサービス、ソリューションを提供するだけでなく、自ら環境経営を実践する中で得た情報やノウハウを広く社会に提供し、社会全体の環境負荷削減に貢献していきます。

リコーアメリカズコーポレーション

お客様のグリーンパートナーとして、ビジネスのさまざまなステージでの環境負荷削減を提案。

いまや「環境」は、お客様がIT機器を選ぶ際に欠かせない条件のひとつとなっています。アメリカの販売統括会社リコーアメリカズコーポレーション（RAC）では、リコーグループのグローバル戦略である「トータル・グリーン・オフィス・ソリューション」(TGOS)を販売戦略の核と位置づけ、省エネ、リサイクル、紙の環境負荷削減など、さまざまな環境改善ノウハウをお客様に提供しています。RACのショールーム「リコーテクノロジーポータル」では、セミナーやイベントを開催し、多くのお客様に「リコーのハードウェアやソリューションがお客様のビジネスの各ステージで、どのように環境負荷削減に役立つか」をご実感いただいています。今後もこのようなライフサイクル視点での環境負荷削減を提案し、お客様のニーズに積極的に応えていくことで、持続可能な社会づくりに貢献します。



RAC マーケティング
シニアバイスプレジデント
Ron Potesky



リコーテクノロジーポータル
(ニューヨーク市)



環境負荷削減のヒント
が書かれた標示板

リコーエレクトロニクス

地域のリーダーとして環境経営の環を拡げ、販売部門のグリーンマーケティングもサポート。

アメリカの生産会社リコーエレクトロニクス（REI）は、カリフォルニア州初のごみゼロ工場として、地域行政などの依頼による環境セミナーを開催し、ノウハウを提供したり、また、仕入先企業やお客様のごみゼロ活動を支援するなど、積極的に環境経営の環を拡げてきました。さらに、販売会社のグリーンマーケティングをサポートし、製造業のお客様に対して生産現場の環境負荷削減に役立つノウハウを提供して



セミナーで講演する
REI社長 山下良則



企業向けに開催した環境セミナー

きたいと、工場見学の受け入れや企業向けセミナーの開催に協力しています。

アメリカ議会上院向け環境セミナーに協力

アメリカ議会上院の集中購買部門 (Sergeant at Arms) 様は、議員や委員会からの注文に基づいて、複写機やプリンターなどのIT機器を購入しています。リコーアメリカズコーポレーション (RAC) は、同部門様から、環境負荷削減の提案力が認め

られ、上院議員・職員を対象にした環境セミナーのパートナーにご指名いただきました。製品の省エネ性能やライフサイクル視点での環境負荷削減のとらえ方など、IT機器を選ぶ際に具体的に役立つ情報を提供しました。

環境経営の考え方

特集／環境経営の環を拡げる

製品に関する取り組み

事業活動に関する取り組み

環境経営の基礎

Voice ① アメリカ議会上院集中購買部門様の声

ライフサイクル視点での環境負荷削減提案は斬新でした。

最近の環境問題への関心の高まりを背景に、議員や委員会から「IT機器の環境性能」や「サプライヤーの環境活動」についての問い合わせが増え、この機会に多くの議員や職員に、環境についての知識を深めてもらおうと、各サプライヤーに環境情報の提供を求めました。中でも、リコーは環境経営の歴史においても信頼が高く、ライフサイクル視点で環境負荷削減を考えるとという斬新な提案をしてくれました。今後もリコーには、製品の省エネやリサイクルなど、質の高い情報を提供してもらい、環境にやさしい選択をするためのより正確な知識を上院内に提供していくことで、環境負荷削減に役立つ製品の注文が増えることを期待しています。



アメリカ議会上院 集中購買部門の皆様とRAC社員 (左から)
Vicki L. Sinnett様 Ed Jankus様 Tracy I. Williams様
Kimball B. Winn様 RAC Lance A. Helmick
Diane Adams様

環境・社会・経済への配慮に重点をおいたオリンピックの開催を支援

2010年開催のバンクーバーオリンピック委員会 (VANOC) では、環境・社会・経済に配慮したオリンピックの実現を目指し、IT分野では「最小の環境負荷で、世界15,000のメディアへ適確な情報発信を」という目標を掲げ、取り組みを始めています。リコーカナダ (RCI) はこの考えに賛同し、オフィシャルサポ

ーターとして、大会で使用する複写機・プリンターの紙の環境負荷削減をサポートしています。オリンピックの前年に開催された2009年冬季ワールドカップ大会を利用して、両面プリント率の向上など、ドキュメントマネジメントの数々の改善テーマを試行しています。

Voice ② バンクーバーオリンピック委員会 (VANOC) 様の声



オリンピック・ロゴ
リコーカナダは、2010年バンクーバー冬季オリンピック/パラリンピックのオフィシャルサポーターです。

リコーカナダの協力で、サステナブルなオリンピックの実現を。

私たちは、開催中だけでなく、終了後も多くの市民に「オリンピックが開かれてよかった」と言ってもらえる大会運営を目指し、スポンサーやオフィシャルサポーターにサステナビリティ戦略への協力を求めています。リコーカナダ (RCI) からは、効率的な機器の配置や終了後の製品リサイクルプログラムなど、私たちの戦略に合致する数多くの提案をいただきました。その提案のとくに優れた点は、ひとつの施策の実施後に、その結果に基づく数多くの改善提案がなされる仕組みです。私たちは、バンクーバーオリンピックを今後のオリンピック運営のよき前例にしたいと考えています。RCIには、大会終了後まで、私たちの使命の達成に対する多くの支援を期待しています。



バンクーバーオリンピック委員会の皆様とRCI社員 (左から)
Ward Chapin様 Ann Duffy様
RCI Mike Fast RCI John H. Gartland